

上場会社名：富士電機株式会社
 代表者名：取締役社長 沢 邦彦
 (コト 番号6504 東証・大証・名証第1部 福証)
 問い合わせ先：財務計画室財務部長 松本淳一
 TEL 03 - 5435 - 7111 (代表)

平成15年3月期通期 連結業績予想修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、前回発表した通期の連結業績予想を下記のとおり修正致します。

記

1. 15年3月期通期 連結業績予想数値の修正 (平成14年4月1日～平成15年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成14年10月24日発表)	840,000	18,000	13,000	3,000
今回修正予想(B)	830,000	13,000	8,000	2,000
増減額(B - A)	10,000	5,000	5,000	1,000
増減率(%)	1.2	27.8	38.5	33.3
前期(平成14年3月期)実績	839,135	7,489	5,791	3,217

2. 連結業績予想修正の理由

最近の経営環境は、民間設備投資や個人消費の低迷が続くなか、国内市場の回復遅れ、公共投資削減等により、引き続き厳しい状況が続いております。

このような環境下、通期の業績予想については、売上高は「電機システム」部門、「機器・制御」部門において前回発表(昨年10月24日)予想値を下回る見込みです。

損益面では、営業損益、経常損益ともに売上高の減少および予想を上回る市場価格の下落を主因として悪化する見込みです。

特別損益は、厚生年金基金の代行部分の返上による利益(約180億円)(*参考資料：本日発表の「厚生年金基金の代行部分の返上に関するお知らせ」、変電事業の会社分割に伴う営業移転利益(約126億円)、退職給付信託設定益などを特別利益として計上する予定です。特別損失としては、退職給付数理計算上の差異償却(約240億円)、投資有価証券評価減、ならびに生産体制再編費用などの事業構造改革の加速に伴う特別損失が発生します。

以上により、昨年10月24日発表の通期の連結の業績予想を下方修正することと致しました。

なお、単独の通期の業績見通しは下記の通りです。

<ご参考>

(単位：億円)

	今回発表予想	前回発表予想	増減率(%)
売上高	4,500	4,500	-
営業利益	80	90	11.1
経常利益	60	70	14.3
当期純利益	35	40	12.5

【注記事項】

上記の業績見通しは、市場における当社製品の需給の急激な変動、米ドルを中心とした対円為替相場の変動、日本の株式相場の変動などにより、実際の業績と異なる場合があり得ることをご承知置き願います。

以 上